

別記  
第1号様式(第14条関係)

### 環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京都府知事	令和4年7月25日
住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地) 京都市伏見区竹田鳥羽殿町6番地	氏名(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 京セラ株式会社 代表取締役社長 谷本 秀夫
環境マネジメントシステムの名称	ISO14001
適用範囲	京セラグループ(京セラ株式会社及び国内関連会社 合計299拠点、ISO14001統合認証取得 137拠点)
導入年月日	1996年 10月 29日
認証番号	EMS635470
基本方針	【京セラ環境憲章(基本理念より)】 京セラは創業以来、「敬天愛人」の社是のもと「全従業員の物心両面の幸福を追求すると同時に、人類、社会の進歩発展に貢献すること」を経営理念とし、すべてのものを生かそうとする「宇宙の意志」と調和する心をもって仕事にあたってきている。これはまさに今日の地球環境問題に取り組む企業に求められる考え方を先取りしており、企業活動は人間の尊厳を維持し、社会の持続的発展を可能にするものでなければならないことを指し示している。京セラグループはこの理念を基本として、低炭素社会、循環型社会、自然共生社会の形成に向け、更に目的意志を高めて、環境保全、地球環境商品開発、省エネルギー・地球温暖化防止、省資源、廃棄物削減、化学物質の適正管理、生物多様性保全等の環境対策について総合的な取り組みを行い、より積極かつ継続的に地球環境保護に貢献する改善活動を行うものとする。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。)	①温室効果ガス排出量の削減 2030年度46%削減(2019年度比) ②再生可能エネルギーの積極的な導入 2030年度20倍(2013年度比) ③カーボンニュートラル 2050年度 ④エネルギー使用量原単位の削減 ⑤水使用量の削減 ⑥産業廃棄物排出量の削減およびゼロエミッション、プラスチック削減対策
目標を達成するための取組の内容	①省エネルギー・地球温暖化防止への取り組み ・エネルギーロスの低減による省エネ ・生産設備の待機電力、運用条件見直しによる生産効率の改善 ・高効率ユーティリティ設備、HFC冷媒設備、LEDの導入 ・脱蒸気(電化/水加湿)、脱石油燃料(天然ガスへの燃料転換)化 ・太陽光発電システムをはじめとした再生エネルギー設備の設置、増設 ②廃棄物の削減・再資源化への取り組み ・洗浄方式変更と排水リサイクル装置導入、廃液の排水処理化による削減 ・廃棄物の再資源化率99.5%以上およびプラスチック削減対策の実施
目標を達成するための取組の進捗状況	取り組みの進捗状況については特に問題ありません。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	<省エネ対策の実施> ①綾部工場 生産装置の歩留まり改善(工場全体計)年間802 t-CO2削減 ②綾部工場 脱水汚泥の乾燥取り止めによる蒸気用灯油削減 年間 灯油使用量96,000 L、101 t-CO2削減 ③綾部工場 空調機風量調整による冷凍機負荷低減年間97 t-CO2削減 ④けいはんなリサーチセンター 熱源更新工事 (吸収式撤去→モジュールチラーへ) 年間49 t-CO2削減 <評価> 各拠点で省エネ施策を実行し、エネルギー使用量削減、原単位改善に寄与しております。
事業活動に係る法令の遵守の状況	関連法規の遵守状況確認については、定期確認として年1回、遵守確認を行っております。また、法改正時には随時、適用確認を行っております。 【令和3年度の遵守状況について】 違反及び行政当局からの指摘はありませんでした。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	環境マネジメントシステムの評価・見直しについては、定期のマネジメントレビューを実施しております。令和3年度においても評価、見直しを実施しました。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。